

東同窓会報



編集・発行：大阪府立東高等学校（兵庫県）同窓会大阪支部会
TEL(06)6554-1251(代表) FAX(06)6554-5653

大阪府立東高等学校同窓会ホームページ <https://osaka-higashi-hs-dosokai.jp/>
各様からの情報を掲載中ホームページメニューの「会員登録フォーム」からご投稿ください。
●印刷の際はご連絡ください。



2026.5.1 NO.56

ご挨拶



陽春のころ皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年も来たる5月17日(日)同窓会総会がひらかれます。諸先輩方や新卒生や同窓生の皆さんに、お会いできるのを楽しみにしております。

これからの少子化や学校の統廃合で、無くなってしまいう学校もある中で、京橋駅からの東野田町の立地条件の良さや、カリキュラムや教員と在校生の努力の賜で、学校のレベルと、人気が上がっています。今の世界情勢を顧みると、イラン、イスラエル、ウクライナと戦争は絶えません。円安、物価高騰の中、学校運営の協力団体としての、こ

同窓会会長 新木 貴雄 (昭和56年卒業)

れからの同窓会の在り方も、色々な皆さんの協力を得て、運営して行かなければなりません。

まずは毎年恒例の同窓会総会に、一人でも多くの参加をお願い致します。いま一度旧友にお声がけいただき、<総会で待合わせ同窓会をしましょう>提案や賛助金への呼びかけも、積極的に行います。同窓会理事や、総会内容も見直すつもりですが、新しい意見をぜひ総会によせていただきたいです。

新校舎に耐震補強してから、間もなく50年を迎えようとしています。校舎の耐震補強工事やクーラー設置、今年は食堂にもクーラーがつくようです。昨年は製氷機を、同窓会から寄贈しました。これも、同窓生の皆さんのご支援ご協力のおかげと、思っております。これからも、皆さんのご協力をお願いします。

ご挨拶



東高等学校同窓会会員の皆さま方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より母校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、本校の第27代校長として赴任し、早や1年が過ぎました。引き続き、本校教育の一層の充実・発展に向けて、微力ではありますが誠心誠意努

力してまいりますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年の3月に313名の生徒が本校を巣立っていきました。彼ら彼女らには卒業式で、「今、日本、そして世界は大きな変化の最中にあります。AIやデジタル技術の急速な進展、価値観の多様化、不確実性が増す国際情勢。こうした時代に必要とされるのは、「与えられた正解を選ぶ力」ではなく、「自ら問いを立て、考え抜く力」です。物理学者のアルベルト・アインシュタインは、「問題は、同じ考え方で解決できない。」という言葉を残しています。これは、皆さんが探究活動の中で経験してきた姿勢と重なります。既存の枠にとらわれず、多様な視点で物事を見直してみる。情報を鵜呑みにせず、自分で確かめ、考えること。その積み重ねによって、はじめて新しい発見が生まれます。SNSやネット上の情報が瞬時に広まる時代だからこそ、皆さんには、

校長 大西 忠典

ぜひ、「本当にそうだろうか?」、「他の見方はないだろうか?」と立ち止まって考える姿勢を忘れないでほしいと思っています。本校での探究活動で、皆さんはその力をすでに身につけているはずです。問いを立て、仮説をつくり、調べ、仲間と議論し、そして失敗を糧に次の一歩を踏み出して生きていきます。その過程で得た学びは、どのような道に進んでも必ず活かされるはずです。これから皆さんは、それぞれの未来へ向かって歩み始めます。進む道は違っても、皆さんが東高校で培った「問い続ける力」と「考え抜く力」は、どのような場所でも必ず皆さんを支えてくれるはずです。どうか自分を信じ、仲間を大切にしながら、新しい世界へ踏み出してください。」と言葉を送りました。

東高校の卒業生である彼ら彼女らなら、想像を絶するような予測もできない場面と直面しても、的確に課題を発見し、自らの思考を信じて、たくましく生き抜いてくれると信じています。

本年度も、理数科、英語科、普通科の3学科に321名の意欲あふれる新入生を迎え、全校生徒951名で、創立103年目のスタートを切ったところです。本校の充実・発展のためには、同窓会の皆さま方のご支援とご協力が不可欠でございます。引き続き、同窓会会員の皆さま方と手を携えて、東高等学校のさらなる発展のため、どうか格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

総会案内

●令和8年5月17日(日)
(毎年5月第3日曜日定期)

●13時から(受付12時30分より)
母校においでください。

★会費:1,000円(新卒は不要です)

本年度も、豪華景品が当たるビンゴゲーム等、盛り沢山のアトラクションがあります。

皆様、お問い合わせは、普段着のままでお気軽にご出席ください。素晴らしい時間をお約束します!(同窓会)

協賛金 ご協力のお願い

協賛金(一口1,000円 何口でもご協力ください)を頂いた方々には同窓会会報をお送り致します。

■口座名:大阪府立東高等学校同窓会

■払込口座No:00950-6-65560

各々の郵便局でお手続きください!



進路状況報告 (令和7年度)



I 進路概要

本年度は昨年度から実施された新学習指導要領での新課程入試2年目となり、新課程入試初年度とは傾向が変わり共通テストでは難化した科目もあって、国公立大学出願時には正確な情報を把握して生徒および教員に提供することが重要な年度となりました。また、近年の少子化の影響で大学間の競争が継続して激化しており、一昨年度の関東の私立大学で年内の学力試験を行った影響もあり、総合型選抜や学校型推薦選抜では志望理由書や小論文、面接などを課す大学も増え変化も見られました。全体的には引き続き理系学部の新設や定員増が相次いでいる一方で、受験生の文系志向回帰の動きも強まり文系学部が難化している傾向にあります。そのようななかで本校の共通テスト出願者の人数は231人と昨年度並みで、多くの生徒は年明けの一般選抜でも努力を続けました。その結果、国公立大学のべ合格者数は60となりました。また、私立大学でも現役生のみで「産近甲龍」のべ合格者数が377(昨年386)、「開関同立」のべ合格者数が349(昨年303)となり、そのなかでも関西大学の203(昨年162)と同志社大学の70(昨年46)の合格者数は過去最多となり、昨年より多くの進学実績をあげることができました。特に関西大学の2月に行われた一般選抜での合格者数は全国の高校のなかで11番目に多かった結果になりました。生徒たちは最後まで努力を続け、自らの進路希望の実現に向けて果敢に挑戦した姿は賛辞に余りあるものと考えております。

令和8年度の3年生志望は文系174人、理系120人となり、それにともない理系の国公立大学志望者が減少し、文系は昨年並みの38人、理系は55人がめざしています。本校では「10年後の将来」を見守り、生徒一人ひとりの進路実現に応じたきめ細やかな指導を今後とも継続してまいります。同窓会のみならず、これからも引き続き在校生への激励を、よろしくお願いいたします。

令和7年度 同窓会費(本会計)決算報告書

収入内訳		(単位:円)			
項目	予算額	決算額	差引増減	備 考	
繰越金	12,516	12,516	0	前年度繰越金	
入会費	308,000	318,000	10,000	今年度卒業生@1,000×318名	
会 費	924,000	954,000	30,000	今年度卒業生@3,000×318名	
総会参加費	100,000	76,000	△24,000	総会参加者76名	
雑収入	0	532,093	532,093	前回までの総会参加費など	
合 計	1,344,516	1,892,609	548,093		

支出内訳		(単位:円)			
項目	予算額	決算額	差引増減	備 考	
事業費	500,000	640,250	△140,250	学校依頼の製版費・敬愛社(卒業生)	
総会費	500,000	493,373	6,627	総会費用(会費・展覧・会場費等)	
会議費	0	0	0		
通信費	100,000	221,981	△121,981	ホームページ費用・総会ハガキ	
贈答費	0	0	0		
事務費	0	0	0		
積立金	200,000	300,000	△100,000	別途積立金会計への繰出し	
予備費	44,516	1,760	42,756	繰込料	
合 計	1,344,516	1,657,364	△687,152		

令和7年度 同窓会(別途積立金)決算報告書

収入内訳		(単位:円)			
項目	予算額	決算額	差引増減	備 考	
繰越金	562,008	562,008	0		
積立金	300,000	300,000	0		
雑収入	0	0	0		
合 計	862,008	862,008	0		

支出内訳		(単位:円)			
項目	予算額	決算額	差引増減	備 考	
周年事業費用	0	0	0		
振込料	0	0	0		
合 計	0	0	0		

II 進路状況

()内は既卒生の合格数(内数、二部・夜間主を含む)です。

【国公立大学】計60

	大阪大学	6(1)	滋賀大学	2(1)	広島大学	1(1)
九州大学 <td>1</td> <td>京都工芸繊維大学</td> <td>1</td> <td>豊根大学</td> <td>2</td> <td></td>	1	京都工芸繊維大学	1	豊根大学	2	
大阪公立大学	15(4)	奈良教育大学	2	山口大学	1	
大阪教育大学	11	奈良県立医科大学(畜)	2	香川大学	1	
北見工業大学	1	奈良県立大学	2	徳島大学	1	
富山大学	1	奈良女子大学	1	高知大学	1	
石川薬科大学	1	兵庫県立大学	1	大分大学	1	
三重大学	1	和歌山大学	4	海上保安大学校	1	

【私立大学】

同志社(75)、立命館(40)、関西学院(44)、関西(209)、京都産業(37)、近畿(253)、甲南(2)、龍谷(112)、京都女子(7)、同志社女子(28)、武庫川女子(49)、関西外国語(32)、大阪工業(41)、摂南(84)、造手門学院(14)、大和(45) など

【専門学校】

国立病院機構大阪医療センター附属看護学校(3)、大阪警察病院看護専門学校(1) など

令和8年度入試合格状況(令和7年度卒業生、および既卒生)

	国公立大学	私立大学	短期大学	専門学校	公務員・就職
普通科	26	699	3	6	0
英語科	7	156	0	0	0
理数科	20	269	0	4	0
既卒生	7	54	0	1	0
合 計	60	1178	3	11	0

令和7年度 同窓会特別会計決算報告

収入の部		支出の部	
同窓会賛助金	313,174	同窓会報印刷費	232,201
雑収入(預金利息)	1,817	同窓会報郵送料	110,008
前年度よりの繰越金	2,070,046		
合 計	2,385,037	合 計	342,209
		次年度への繰越金	2,042,828

令和8年度 同窓会費(本会計)予算案

収入内訳		(単位:円)			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減	備 考	
繰越金	235,245	125,516	222,729	前年度繰越金	
入会費	318,000	308,000	10,000	今年度卒業生予定@1,000×318名	
会 費	954,000	924,000	30,000	今年度卒業生予定@3,000×318名	
総会参加費	100,000	100,000	0	今年度総会出席者予定100名	
雑収入	0	0	0		
合 計	1,607,245	1,344,516	262,729		

支出内訳		(単位:円)			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減	備 考	
事業費	300,000	500,000	△200,000	卒業記念誌代	
総会費	700,000	500,000	200,000	総会経費	
会議費	0	0	0		
通信費	300,000	100,000	200,000	ホームページ維持費	
贈答費	0	0	0		
事務費	0	0	0		
積立金	300,000	200,000	100,000	別途積立金会計への繰出し	
予備費	7,245	44,516	△37,271	繰上	
合 計	1,607,245	1,344,516	262,729		

令和8年度 同窓会(別途積立金)予算案

収入内訳		(単位:円)			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減	備 考	
繰越金	862,008	562,008	300,000		
積立金	300,000	300,000	0	本会計より繰入れ	
雑収入	0	0	0		
合 計	1,162,008	862,008	300,000		

支出内訳		(単位:円)			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減	備 考	
周年事業費用	0	0	0		
通信費	0	0	0		
合 計	0	0	0		

第78回 東高校卒業式

令和8年2月27日東高校卒業式が本校体育館にて行われました。卒業式は吹奏楽部の演奏で始まりました。

感動の答辞を吹奏楽でさらに盛り上げ、先生や在校生、保護者の方々への感謝と数々の思い出話に目頭を熱くしました。

大阪市より成績優秀者などが表彰され、313名が希望に向かい巣立っていききました。教職員、ご来賓、保護者や友人先輩などの多くの温かい目が励まし見送りました。



旧東高校 跡地の今!

本校卒業生の方から旧東高校の跡地の写真と「区民ギャラリーとして文化交流の場があることは嬉しいです。」との感想を寄せて下さいました。

明治28(1895)年1月、船場久太郎町に校舎が新築され東区高等小学校が移転してきました。

東区第一高等小学校と改称し、大正12(1923)年に市立東区女学校が設立されました。昭和6(1931)年、木造2階建てを地上3階地下1階(エレベーター設置)鉄筋校舎に改築。昭和54(1978)年に離別式が行われ、その跡地に市民が集う中央区民センターが建設されました。

そして、本校同窓会は平成元(1988)年、当地に東高等学校の名を永久に残すため記念碑を建てました。



令和7年度 同窓会総会報告

同窓会総会は毎年5月第3日曜日に行われています。

令和7年は5月18日東高校食堂にて行われました。新卒業生をはじめ年配同窓生が集まる同窓会総会の様子をご紹介いたします。

受付は学校内中庭で眩しい太陽を浴びながらでした。受付後、食堂で総会が始まり、東高校校長挨拶、同窓会会長挨拶、会計報告のあと、本校卒業生でプロの歌手として、活躍されている青木美香子さんのミニコンサートがありました。友達とのお喋り……。恒例、お楽しみ品のビンゴゲーム大会で豪華景品を獲得し笑顔がこぼれました。



受付



新卒生



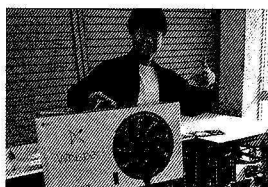
新卒生



新卒生



青木美香子さんミニコンサート



ビンゴゲームで景品ゲット

後援会だより

ご挨拶

後援会会長 小川 弘志 (令和8年度)

同窓会会報をご覧の皆さま、こんにちは。令和8年度後援会会長を務めております小川です。私は卒業生ではありませんが、子どもが在学していた(平成20年辺り)ご縁で、今もこうして東高校に関わらせていただいています。

PTAの役員をしていた頃は、行事の準備に追われたり、先生方や保護者の皆さんと相談を重ねたりと、慌ただしくも楽しい日々でした。子どもが卒業してからは少し距離ができるのかなと思っていましたが、気づけば後援会という形でまた学校とつながっている自分がいいます。東高校の空気というのは、親の立場であつてもどこか懐かしく、温かいものですね。

後援会では、在校生や現役PTAの皆さんを少しでも支えられればと、できる範囲で活動を続けています。行事のお手伝いや、ちょっとした相談ごとに顔を出すこともありますが、無理なく、できる人ができるときに、というスタンスでやっています。世帯を超えて学校を応援できるのは、後援会ならではの良さと感じています。

同窓生の皆さまにおかれましても、母校のことをふと思い出したときに、「何か手伝えることあるかな」と気軽に声をかけていただければ嬉しいですね。大げさなことをしなくても、学校を気にかけてくださる気持ちは何よりの支えになります。

これからも後援会として、母校の発展と在校生の成長をそつと後押しできればと思っています。どうぞ温かく見守っていただければ幸いです。皆さまのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

PTAだより

ご挨拶

PTA会長 原田 子織 (令和7年度)

創立100周年を超えた歴史と伝統ある東高校が、さらなる魅力ある学校になるよう応援したいのでPTA活動を行なってきました。

学校と保護者が同じ方向に向いて協力し合う事や様々な意見を交わす事で学校全体のよい雰囲気を作り上げ、結果的に生徒達の学校生活や学習環境によい影響を及ぼすと思えます。

教職員や保護者の方々とコミュニケーションを図り、互いの信頼の輪の中で子どもたちを育てる学校でありたいと思います。

私自身もPTAに携わる事で、生徒さんの学校生活をよく知り、関わらせて頂き、有意義な経験をさせて頂きました。

東高校の生徒さんは礼儀正しく、懸命に物事に取り組む印象があります。

文化、芸術の活動は、大人には想像できないような発想力。体育活動では、生気あふれてキラキラした躍動感。

授業参観では、どのクラスを覗いても、真剣な眼差しで授業に集中している様子でした。

「高校生は凄い」としか言いようがなく、これらの様子は学校や家庭生活の充実を物語っている事が伝わってきました。

また、府立PTA協議会では、他校の先生方、保護者の方との交流ができ、それぞれの学校の現状や、情報交換をして、それぞれの学校の特色や教育方針のあり方に感銘を受けました。

役員、実行委員の、教職員の皆さまと共に無理なく、楽しく、活動でき、人生の素晴らしい経験になりました。

時の流れ、時代の背景により、学校の統合、再編、入学の停止等、本校もこの先に大きな改革を迎えております。

縁があつて、東高校に携わる事ができたPTA、役員一同、生徒達の笑顔の為に精一杯努めてまいります。

人との繋がりを大切に、学校の名前を尊重、継続し、本校の発展を心よりお祈り申し上げます。

会員だより

東高校出身の天王寺動物園長

中川 哲男 (昭和37年卒業)

昭和37年(1962年)に大阪市立東高校を卒業し、現役で日本獣医畜産大学(現・日本獣医生命科学大学)に入学し、獣医師の国家試験もストレートで合格しました。当時、東高校から獣医大学に進学した先輩のことは聞きませんでしたしデータがなかったように思います。(獣医大学に進学したのは本校初めてかも知れない?)

卒業後は大阪市役所衛生局に就職しました。そして公衆衛生行政の獣医師として12年勤務し、思いがけなくも動物園勤務の話があり躊躇せず動物園へ配置替えとなりました。

正直に考えていた動物園の勤務は今までは全く違っており、経験しなかった職従業員との労使間交渉、カスタマーハラスメントとも取れるお客様との無理難題の対処、思いがけない動物の脱出の数々、度重なる夜間の侵入者、入場門で酒盛りをする不埒な市民、職員の不祥事などなど毎日の変化に暇(いと)まがございませぬ。それだけに強たくたくましく鍛えられたように思います。

管理職として転動したので定期的に長期の動物園の改造計画(Zoo21計画)に中心的に携わり、また、WAZA(世界動物園水族館協会)の正規会員への入会(日本としては8番目)を私の時代に成し遂げ、名実ともに天王寺動物園を国内外有数の動物園に育て上げたことは賞賛に値すると思えます。

現在の府立東高校は私の在学中と比べてみると受験競争率も偏差値も格段の差で優秀になっており卒業生として非常にうれしく誇らしく思います。高校受験当時、第3学区の公立高校(普通科)はランクでいうと大手前、清水谷、旭、東、汎愛という順で担任からは旭高校がちょっと無理ではないかと言われていました。運命や人生はわかりませんが東高校へ入学したことで、獣医大学へ入学したこと、天王寺動物園へ転動したことなどが自分としては何か流れに乗っていたように思います。

今の時代、学生や若者に自殺者や不登校、引きこもりが社会問題となつていきました。私の時代は行政の保護も負し、周りの環境はもつと過激で壮烈だったように思います。表現は悪いですが挫折させてもらえなかったという感じですが。

今は相談、カウンセリングなど窓口も多様にあります。一人で抱え込まず相談すること物事をもちっと広く見つめて、大らかな気持ちで対処できるような心の持ちようを考えてください。何よりコミュニケーションの役割は相当大事に思います。



当時、天王寺動物園を視察される秋篠宮殿下ご夫妻をご案内

会員だより

世界平和を願う今日この頃 廣瀬 忠 (昭和39年卒業)

「よくもここまで来たものだ」でも「人生100年時代」と言いますよね。

想い起せば、「昭和20年生まれば児童数が少なく、競争心が薄い」と、ことある毎に先生に言われたものです。しかしみんな頑張って卒業後、色んな道に進み悲喜こもごもの人生を歩み62年が経ち、ました。その間に他界された方、現役で今もお現役で頑張っておられる方いろいろだと思います。

私達の学びの校舎は、口の字形の校舎で創立当時は女学校だったそうで、現在の大阪市中央区役所のところにあります。

クラス数は、5クラスで、1組2組3組が男女共学の普通学級で、4組5組は、家庭科の女子のクラスでした。

当時は、砲場センタービル(昭和45年、大阪万博開催の年に開業)もあり大通りもなく、正門近くに小さな甘辛喫茶があった記憶があります。

秋の文化祭の準備などで下校時間が遅くなると、おなかも減って北側校舎の中地下のところにあった食堂でラーメンを食べたものです。

現在の東高校は、広い運動場があり野球の練習も悠々とできますが、私達は、口の字形の校庭で、短い昼休みにフォークダンスを楽しんだものです。運動会となると、校庭が狭いので近鉄南大阪線が高駕橋まで行き、近くの広い運動場で、競技を競ったものです。

昭和39年には、ちょうど私達のために作られたかのように舟木一夫さんの「高校三年生」が流行っており、東京オリンピックが開催された年でもあり、大阪府庁前で聖火ランナーを見送りました。

社会人になった頃は、今では当たり前のコピー機や電卓、携帯電話もなく、入社時には、そろばんを支給される時代でした。ところが今では、デジタル化が進み、色々便利なものを生み出し、また、その反面恐ろしい事件や戦争が起きています。

世界平和を願う今日この頃です。

窓

わくわくドキドキの箱根駅伝!

正月2日、3日といえは箱根駅伝が浮かびませんか?年々その人気は増している。

往路ゴールの芦ノ湖では、どの大学の選手がゴールに走りこんでくるかとわくわくドキドキ。大学と選手名がアナウンスされる。健闘を讃えて「パンパン」とゴールの合図。次から次へと走りこんでくる選手の一ひとりにゴールテープと大歓声を迎える。そしてそこでは、共に箱根駅伝を目指してきた仲間が待っていた。また、芦ノ湖ゴールでは往路優勝大学のインタビューが行われ喜びと感動が溢れていた。

さて、芦ノ湖ゴール地点で応援するには、1月2日9時15分前(10時すぎ通行止めになる)には小田原で箱根登山バスに乗ることがポイントである。

復路の東京読売新聞のゴール前で応援するには、10時ぐらい前に行かないと沿道の応援場所が取れない。12時になると交通規制も行われる。

復路は、1位から20分以上離れると繰り上げスタートがあり、選手の想いがこみ上げる場面もある。そして、ラスト10区では、これまで9人がつないだタスキの絆を胸にゴールと直線になる日本橋を抜けて行く。ここで伴走車、監督の指示する車も右に折れ選手だけが「がんばれ!」「ラスト」の応援の声を聞き、真っ直ぐにゴールに向かって最後の力を振り絞るのである。とくにシード権(翌年の

会員だより

昭和の回顧録 林 壽彦 (昭和48年卒業)

「昭和の回顧録:不完全な環境が育んだ自立心」のタイトルでパワーポイント(PPT)による原稿を頂きました。同窓会報には林さんのご了承頂き文章にして一部掲載いたします。なお、パワーポイント(PPT)の原稿は東高同窓会HPの「会員からのお知らせ」昭和の回顧録」をぜひ、ご覧ください。

1970年代、東高校での穏やかな日常と学びが、今につながっていた。

登校初日の1970年4月8日は、天神橋筋六丁目駅から歩いて帰った1時間後に「天六ガス爆発事故」が発生した。この年に大阪万博が開催され、長髪やフォークソングが大流行していた。政治運動やハイジャック事件など激動の時代に、東高校の日常は「特に」何もなく穏やかな学生時代。かつての「給湯の女学校」の気風が色濃く残る空間で、被服科があり女子生徒は多かった。

記憶の中の学び舎は優雅さと老朽化が同居していた。屋上にプレハブ校舎、ステンダグラスの階段と壁、大理石の階段、動かないエレベーター、床が抜けそうな板張りの廊下、地下の食堂に鶏の絡まるポロポロの校舎の記憶である。そして、プールがなく運動場もなくサッカー部は練習のためわざわざ大阪城まで走って移動した。サッカー部員が練習で農人橋の歩道橋を猛ダッシュで駆け抜けるため、橋が揺れ学校にクリームが入ったこともある。サッカー部の創設は、ゼロからの組織作りからであった。グラウンド等の設備がなく、白紙状態でサークルを立ち上げた。

自分たちで考え、行動するしかないという環境が自主的・自立的に取り組む力となっていた。それが、実社会でゼロから組織を立ち上げ運営するマネジメント力や仲間と共に目標に向かう「チームワークの大切さ」という、仕事に活きた力となっている。

与えられたものが少ない環境だったからこそ、仕事という実社会で最も重要となる「ゼロから創り上げる力」が自然と鍛えられていた。時代は流れ、東高校も市立校から「府立」へと変わり、2学年下の被服科出身の妻。娘は東高校新校舎から卒業した。そして、大病を経験したことで平凡な日常と健康の大切さを痛感している。個人的には勉強も運動もあまり力を入れた3年でした。しかし、あの「特に何もなし」穏やかな日々の中に人生の基盤となる大切な学びと、かけがえのない歴史がつまっていた。

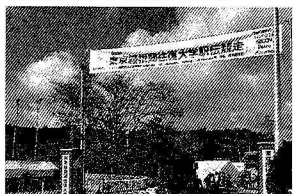
大会出場権)の10区内獲得でゴール前では選手への争いに応援も力が入る。残りの10枠は、10月に開催される予選会によって決まる。ずっと、わくわくドキドキが続くのである。

箱根駅伝の魅力は、往路5区間、復路5区間の10区間コースで、特に箱根の山1上り5区。それと10人の選手が前の選手から託されたタスキをつなぐという強い絆である。

マラソンのように1人が走りきるのではなく、人と人との言葉を超えた人間ドラマがある。また、農業大学の原振付、チアガールや演奏など応援も見ものである。

こんな魅力溢れる箱根駅伝を池井戸潤原作『俺たちの箱根駅伝』がドラマ化され、10月にテレビ放送が予定されている。

1987年1月、箱根駅伝を中継してきた日本テレビ主催、関東学生陸上競技連盟が全面協力のもと、箱根にすべてをかける者たちの熱き闘いを描いている。(東)



往路芦ノ湖ゴール地点



今年 東高校を卒業して (令和8年3月・高78回卒)

「東高校を卒業して」 岸本 響介 (普通科)

東高校を卒業した今、振り返ってみると、あの三年間の日常は当たり前なものではなかったということを感じています。友達としようもない話を笑い合った時間や、何気なく過ごしていた学校生活の一つ一つが、今ではとても大切な思い出になっています。

東高校で特に印象に残っている行事の一つが文化祭です。文化祭ではクラスごとに出し物を考え(3年生は劇)、準備や当日の運営を行いますよね。準備の過程ではクラスの仲間と協力する時間が多く、自然とクラス内のつながりが深まっていきました。

また、文化祭に限らず体育祭でも、先輩と後輩が関わる機会が多いです。

出し物を見に行ったり、ダンスの練習をする中で学年を越えた交流も生まれます。こうした経験を通して、クラスだけでなく先輩と後輩のつながりも強くなっていくところは、東高校の良いところの一つだと思います。

また、私はフォークソング部に所属していました。入部した当初は分からないことが多く、とても不安でした。

しかし、先輩方がとても親切に接してくださったり、親友と呼べるような友達とも出会うことができ、部活動は私にとってとても充実した時間になりました。

そして、東高校の先生方もとても印象に残っています。全体的に明るく、接しやすい雰囲気の方が多く、気軽に話しかけることができました。分からないことがあっても質問しやすく、不安なことがあったときには相談にも乗ってもらえるような環境がありました。このような環境があったことは、私にとって大きな支えだったと思います。

この三年間で私は多くの人と出会い、多くのことを学び、とても楽しい日々を送りました。今思えば、もっとその日々を大切に過ごしていればよかったと感じることもあります。

しかし東高校で得た経験は、これからの人生にきっと役立つと思います。大学生になっても、人とのつながりを大切にしながら歩んでいきたいと思っています。

「激闘」文化祭」 津村 瑛統 (3-5)

真夏の教室は戦場だった。カーテンを突き破るような日差しが3年5組の教室には差し込んでくる。陽の光に照らされた僕らの「最後の青春」—それが文化祭だった。

体育祭で敗れた我々の至上命題。それは文化祭舞台部門の「最優秀賞」だった。

実行委員になった僕は凄まじい熱量の仲間と共に、外気温を超える熱気の渦に飛び込んでいく。題材決めて178個の案が出た時は思わず笑ってしまった。LINEのアンケート機能は50個

までしか選択肢を作れないらしい。

夏休みの連日の作業で今まで関わらなかったクラスメイトも打ち解けて迎えた2学期。ダンスや歌も含めた練習も進み、まさに順風満帆。毎日完全下校ギリギリまで残って練習したり製作して、巡回の先生に「減点するぞー!」なんて言われて先生も巻き込んで逃げるように毎日帰ってたっけな。

舞台練習でできるのは3回。そして4回目は保護者を入れた公開リハ。実質本番と言えるものだ。本番も近づいた3回目の舞台練。ここで初めて通しで披露する。

10分。

敵守しなければならぬ発表時間を大幅に超えた。

—「どうする」「削るしかない」「間に合うん」。脚本・監督を中心に話し合いが続く。公開リハまであと3日。徹夜で脚本を修正し、音声の編集に入った。

何とか迎えた公開リハ。この舞台の見せ場であるデュエットの練習をギリギリまでしていた。重要な役柄でありながら、僕が生徒会の仕事で穴をあけてしまっこと多かった。厳しい時間の中みんなが作り上げていたステージ。「絶対に優勝したい」という自分の言葉が重くのしかかっていた。リハの直前、実は1人泣いたことは秘密にしている。

時は流れ、閉会式。僕は「優秀賞」の賞状を受け取った。全て出し切って、負けたのだ。この悔しさを忘れることはないだろう。あの舞台の眩い光は、今でも僕らの胸に突き刺さっている。「最後の青春」。その春はまだ熱していなかったからか、すこし、苦かった。

「かけがえのない3年間」 田中 咲綺 (普通科)

高校生活の3年間は、本当にあっという間で、振り返るとたくさん思い出でいっぱいです。入学した頃は不安もありましたが、すぐに大切な友達ができ、何気ない毎日さえも特別で、楽しい日々を過ごすことができました。文化祭や体育祭などの行事では、みんなで協力して一つのものを作り上げる楽しさや達成感を感じることができました。特に最後の体育祭で、3学年一丸となって盛り上がった時間は、今でも忘れられない思い出です。

私はバトン部での活動や学校行事、クラスでの役割などを通して、多くのことに挑戦させていただきました。うまくいかなかったこともありましたが、そのたびに周りの人に支えられ、仲間と一緒に乗り越えてきました。東高校の仲間と過ごした日々や、たくさん笑い合った時間は、どれもかけがえのない宝物です。

この3年間で、人との関わりの大切さや、最後までやりきることの大切さを学び、自分自身も少しは成長できたのではないかなと思います。

最後になりますが、いつも一緒に過ごしてくれた友達、そして温かく見守り、支えてくださった先生方に心から感謝しています。この東高校での経験を胸に、これからも自分らしく前向きに頑張っていきたいです。本当にありがとうございました!

「卒業式を終えて」 萩原 彩生 (3-2 普通科)

卒業式を終え、自由時間が「増えてしまった」春休み。皆様はどのような思いで過ごしていますか?友達と旅行、家族と過ごす時間、ゲーム、あとは二度寝。こんな日々もすごく自分にとってすくくのびのびとした時間で、かけがえのない時間です。けれど思うのは学校のこと。朝学校に行って、眠くてしんどい授業を受けて部活をして帰る。そんな一日は自由時間がもっとあれば楽しい

のと思っていたのに、いざその時間が増えた今、なんとなく遠
 慮だと感じています。友達と6時ぐらまで話していたあの時間、
 わからぬことを教えたあの時間、恋バナに花を咲かせた
 あの時間、グラウンドでヘトヘトになるまで走ったあの時間。教
 室で、学校で過ごしたあのしょもない一日、あの時間が自分が
 思っていた以上に楽しかったのだなと感じています。人生なら、
 これからの大学生はもっと自由時間が増えます。『大人の夏休
 み』とも呼ばれる大学生生活。自分はどんな大学生になっているの
 でしょうか。また、あなたはどんな“しょもない一日”を過ごして
 いますか？

「3年間を振り返って」 今西 蒼 (理数科)

私たちが東高校に入学したのは、ちょうどコロナが落ち着いた
 できた頃でした。小学校卒業から中学校卒業までの長い間、コ
 ロナウイルスの恐怖にさらされながらの生活で、私はマスクなしで
 の生活にまず違和感を覚えたのが今でも心に残っています。また、
 すべてが自己責任の新たな環境にわくわくよりも緊張が勝っ
 ていたのも覚えています。勉強のレベルも一気に上がって、定期
 テストにかかるプレッシャーに押しつぶされそうだったことも
 ありました。ただ、大変なことばかりではなく、楽しい思い出もた
 くさん残っています。体育祭は学年の垣根を越えて団全員で協
 力し、チームの勝敗にみんなで一喜一憂しました。学校生活に慣
 れてきた頃には野外実習で岡山県の牛窓に行きました。ウニの
 発生や天体観測を行い、その土地独自の地質調査なんかもしま
 した。生物学に興味のあった私は体験型の学習が本当に楽しく、
 いい経験になったと思います。文化祭も学年ごとに出し物が異
 なり、2日間分けての大規模な行事に胸が躍りました。2年生に
 上がるころには少しずつ受験を意識し始め、クラスの雰囲気もす
 こし引き締まったような気がしました。2年生での一番大きな行
 事といえば、先端科学研修です。東大で教授の講義を聞いたり、
 つくばの研究所で様々な分野の最先端研究を学びました。三日
 目のデズーシーや4日目の浅草散策は最高の思い出になりました。
 そして迎えた3年生。いよいよ受験本番が近づき、みんなの
 ぴりぴりした雰囲気にも私自身が引き締まりました。ただ、行
 事の際はみんな最後のイベントだと盛り上がり、熱気があふれ
 ていました。最後の行事を最高のものにしてようという一人ひとりが
 一生懸命になり、工夫を凝らし、賞をもらった時はみんなで喜び、
 負けた時はみんなで悲しんだことも、今ではいい思い出です。進
 学先や模試の結果に悩むことも多々ありましたが、友達との何
 気ない会話や担任の先生からのアドバイスを糧に、何となく自分
 の道を築くことができました。東高校での3年間は、何にも替え
 難い大切な思い出になったとともに、私のこれからの人生の道し
 りのべにもなったと思います。

「かけがえのない青春」 山川 晴菜 (3-B 理数科)

東高校を卒業して振り返ると、理数科で過ごした日々は濃く
 て、特別な時間でした。周りは個性豊かで、ちょっと変わって
 るけどめちゃくちゃ優しい人ばかり。その“変さ”がだんだん癖に
 なって、気づけばその空間がいちばん落ち着く場所になってい
 ました。

入学式の日、緊張しながら教室に入ったときの空気は今でも
 忘れられません。一見静かそうなのに、話してみたら好きなこと
 を熱く語り出す人、突拍子もない発想をする人。それぞれが自
 分の世界を持っていて、「この3年間、きっと面白いことばかりだ

な」と感じました。

体育祭では、1人1人が本気で走って、本気で応援して、楽しく
 取り組みました。良い結果は残せなかったものの、一生懸命に取り
 組んだからこそ心から笑えたい、全力で盛り上げられたのだと思
 います。

また文化祭では、楽しいこともあれは準備期間に意見がぶつ
 かって空気が重くなることもありました。しかし、放課後遅くま
 で残って準備を続け、完成した瞬間のみんなの笑顔を見たとき、
 「このクラスでよかった」と心から思いました。

そして印象に残っているのが探究活動です。テーマ決めから発
 表まで試行錯誤の連続でした。データが思うように出ず焦った
 り、何度も実験方法や過程を見直したり。それでも、班で何度も
 話し合い、最後に自分たちの研究を堂々と発表できたときの達成
 感は忘れられません。

こうして東高校で楽しい時間を過ごしていくうちに受験が近
 づいてきました。そこで私はみんなの努力を近くで見えてきた
 ため、放課後に残って勉強する姿や、不安と戦う姿。その合間に息
 抜きでトランプをして笑い合った時間は、私にとって大切な教訓
 となり、楽しい思い出になりました。

東高校で出会った個性豊かでちょっと変な、でも最高にあた
 かい友達と笑って、悩んで、支え合った東高校での3年間、教室
 や部活動で過ごした日々は、これからもずっと私のかけがえのな
 い青春です。

「E組での3年間」 小寺 百果 (英語科)

E組で過ごした3年間は楽しかったことも、大変なこと
 もいっぱいありました。1年生の時の初めての英語でのスピーチ
 はものすごく緊張しました。もともと人前で話すことが苦手だ
 った私は絶対に原稿を忘れないように発表するぞりぎりまで唱え
 ていたことを覚えています。そして夏には京都で一泊二日の英
 語合宿がありました。英語漬けで朝からスピーチでインタビ
 ュをやって一晩でプレゼンを仕上げた次の日発表という超過密ス
 ケジュールで夜中まで部屋でプレゼンの原稿を作ったことが印
 象に残っています。その時はバタバタして忙しかったですが、海
 外からの観光客の人にインタビューをするなんて経験はなかな
 かできないし、知恩院の中も歩けたし、おいしい飯も食べられ
 て、今では英語科じゃないと経験できなかったなと思う思い出
 の一つです。2年生で取り組んだ探究活動は東高校で過ごした
 3年間の中で一番しんどかった活動です。グループメンバーが
 決まりテーマを決めるまでには調読でしたが、調べものやフィー
 ドワークの準備などが始まるとなかなかうまくまとまらなくな
 っていつこれからどうしよう、これはいつ終わるのかなと毎回考
 えてしまったり正直すごく苦しかったです。心配事が多かったの
 で本番当日に自分たちの発表が無事終わったとき、やっと終わっ
 たー!と肩の荷が下りて一気に解放された気分になりました。な
 んによりグループ全員で本番を終えられたことがよかったと思
 いました。3年生では高校生活最後の体育祭に文化祭があって
 どちらも思い出に残っています。体育祭は朝や放課後にダンス
 の練習をしたこと、文化祭は脚本を友達と夜に電話しながら書い
 たことがすごく楽しかったです。一つスピーチが終わるとまた次
 のスピーチがあるというなかなかハードな3年間でした。勉強
 だけじゃなくて行事にももちろん休み時間や放課後して友達と
 話して遊んだことは一生の思い出です。E組で本当によかったな
 と思える3年間でした。

同窓会賛助者御芳名 (2026年3月31日現在)

会員の皆様、いつもご協力ありがとうございます。

【旧職】	【高34①】	【高39③】	【高43②】	【高49①】	【高59①】
吉田 厚	宮浦 恒幸	戸田 康雄	東野 利明	木村 知史	菅原 正記
久野 祐滋	【高35①】	【高39③】	【高44②】	【高53①】	【高61③】
福井 恵	中本 幸美(石田)	下西 千鶴(前川)	矢野 操(高橋)	黒田伊佐子(黒田)	清水 高廣
田中 利幸	【高35⑤】	【高41①】	【高44④】	【高53⑤】	【高50④】
堀田 卓郎	※匿名希望	松田美智子(春日)	片岡 和子(井手)	新見 恵司	坂井 謙太
馬淵 智子	【高36②】	【高41②】	【高45④】	【高55①】	【高平17①】
森 知史	大口 充規	前田 敬文	神守 将宏	岡 敏夫	杉中香名子
【高26④】	杉原 正蔵	【高41③】	【高41③】	【高56⑥】	戸田 拓志
繁田 基	矢野 正文	樫尾 孝徳	※匿名希望	新木 貴雄	【高平31③】
【高27④】	木原 和子(大槻)	【高41③】	【高46①】	【高57⑩】	奥村 真子
木村 寛子(山本亮子)	【高37①】	黒川 摂子(進藤)	野村 孝代(板倉)	池田 速大	【高合06①】
【高31①】	中西 茂夫	川島 文代(辻本)	石本美千代(小谷)	【高59①】	伊藤 優太
北本 浩三	【高37②】	【高41⑥】	【高46②】	湯浅 昌子(平岡)	【高合07E】
【高32③】	中川 哲男	吉岡ひとみ(大亦)	中岡 至	【高59②】	市村 優奈
高橋 典子(足立)	【高37③】	【高42①】	【高46⑥】	川端 孝幸	【高合07B】
【高32④】	松田貴美子(松田)	雨宮 小菊(岸本)	舟木由美子(榎田)	永田 昌徳	清水 翔太
山口 捷子(坪倉)	【高38③】	【高42③】	【高48③】	山田 哲也	
【高33②】	島田 亮子(小森)	小嶋 操子(松本)	池田 堅二	【高59①】	
富松 靖子	【高38⑤】	【高42④】	【高48④】	※匿名希望	
【高33④】	滝川 睦恵(坪井)	大槻 節子(前川)	細川 治男	湯浅 和俊	
鄭 漢龍					

※ご芳名の誤植・漏れはお知らせください。

一言メッセージ

①貴同窓会の益々のご発展を祈念申し上げます。

(福井 恵/旧職員)

②元天王寺動物園園長(獣医)です。何かお手伝いできることがあれば幸いです。

(中川 哲男/高37②)

③110周年、楽しみにしております。

(細川 治男/高48④)

そのほか、多くの皆様から、「会報送付頂き、有難うございました!」…のメッセージがありました。

編集後記

戦争、飢餓、気候、経済不安定と世界の状況は変動しています。それに関わり、日本の平常も食料品、燃料など揺らいでいます。

しかしながら、2月27日の卒業式に際し、生徒の皆さんはそれぞれの思いを胸に明るく歩んで巣立られました。その姿に会場のすべての人が、「未来に希望を見た」と感動されたことでしょうか。

さて寄稿のお願いの折には、皆様快くお引き受け下さり有難うございました。心のこもった文章を大切に掲載させていただきます。企画・経営にご協力いただいた方々、読者の皆様、そしてすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

同窓会誌が同窓会会員の皆様と更に新しく会員になられた方々の架け橋となり、同窓会総会時により多くの方々が集い、楽しく、思い出に残る集いになりますように、また毎年お元気で参加していただきますように願っております。

最後に東高校のますますのご発展と同窓会会員の皆様のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

【広報担当】 糸山 恵子 徳田 恵子 北之防裕子

お願い 正しい現住所のご登録を!

現在登録のご住所が卒業時のままで、会報が届かない方が多数おられます。転居、結婚等、住所変更がございましたら、今後の会報発送を機にご家族の方も、ご本人も正しい現住所のご登録にご協力をお願い申し上げます。

ご転居、結婚、地番変更、転職、物故の方、振替用紙内空白部に記入のご通知くださっても、これら異動通知は名簿係に届きます。



東同窓会報 2026.5.1 No.56

発行 大阪府立東高等学校(東高等女学校)同窓会
〒534-0024 大阪府都島区東野田町4丁目15番14号
TEL (06)6354-1251(代表) / FAX (06)6354-5653

発行日 2025年5月1日(年1回発行/毎年4月末頃発行)

編集 大阪府立東高等学校(東高等女学校)同窓会広報委員会

